平成17年度　日本家政学会

色彩・意匠学部会会報　No. 2

発行日　平成18年3月31日
発行人　日本家政学会色彩・意匠学部会編集発行

事務局　〒102-8341　東京都千代田区三番町22番地
東京家政学院短期大学被服構成学立体研究室（井澤）
TEL　03-3262-2692
FAX　03-3262-2174

《 平成17年度総会報告 》

平成17年8月25日（木)、大阪市中央公会堂において「平成17年度総会」を開催、以下の議事について報告、検討を行い、承認された。

議　事

平成16年度事業報告

1．総会
・平成16年8月26日（木）　旭川グランドホテル

2．役員会
・平成16年8月26日（木）旭川グランドホテル
・平成17年2月26日（土）家庭クラブ会館

3．企画委員会
（演習ノート出版のための企画委員会を開催）
・平成16年5月　2日（日）新阪急ホテル
・平成16年8月26日（金）旭川グランドホテル

4．第26回夏季セミナー
・平成17年8月26日（木)、27日（金）
場所26日：北海道旭川グランドホテル
27日：北海道伝統美術工芸村（国際染織美術館、優佳良工芸館、雪の美術館）
プログラム
＜第1日目：26日＞　※役員会
・講演1）「北の街『旭川』の都市景観に見る色彩について」
北海道教育大学旭川校　八重樫良二教授
・講演2）「被服における色彩・意匠学的私の研究」
椙山女学園大学　加藤雪枝教授
・日本家政学会色彩・意匠学部会総会
・研究、情報交換会
＜第2日目：27日＞
・北海道伝統美術工芸村（国際染織美術館、優佳良工芸館、雪の美術館）での見学・勉強会

5．「色彩学・意匠学実践集」出版準備委員会
・平成17年11月30日（火）青葉学園短期大学

6．平成16年度役員構成
部会長　：斎藤祥子
副部会長：芦澤昌子、加藤雪枝
監　事　：渡辺芳道、飯塚弘子
常任委員：
＜企画・会報＞橘　喬子、井澤尚子
＜セミナー＞井澤尚子
＜庶務＞田岡洋子、成田巳代子
＜会計＞盛田真千子（*会計責任者は勤務先事務局、会計口座開設）橋本令子、石原久代（*会計実務及び発送）
＜監査＞長塚こずえ、野澤久美子
＜顧問＞吉岡徹、伊藤紀之

平成16年度決算報告・監査報告

平成16年度　決算報告

H16.4.1~H17.3.31

収入の部	金額	支出の部	金額
前年度繰越金	7,359	通信費	13,170
平成16年度部会費	40,000	事務費	2,687
		印刷費	200
		会議費	19,635
		雑費	0
		次年度繰越金	11,667
合計	47,359	合計	47,359

以上の報告の通り相違ありません。

平成17年3月31日

監査　長塚　こずえ　印

野澤　久美子　印

平成１７年度事業計画

1．平成１７年８月２５（木）
　　　大阪市中央公会堂

2．役員会
・平成１７年５月２８日（土）中村学園大学
・平成１７年８月２５日（木）大阪市中央公会堂
・平成１８年3月　4日（土）東京家政学院短期大学

3．企画委員会
平成１７年８月２５日（木）大阪中央公会堂

4．第２７回夏季セミナー
期日　平成１７年８月２５日（木）～２６日（金）
　　　大阪市中央公会堂
プログラム
２５日：役員会

・講演１）「間(マ)のデザイン」―エコ、ユニバーサルファッションは日本人の「和」の中にある―
　講師：ファッションデザイナー　古川雲雪氏
・講演２）「色彩・意匠に関する体験的研究視点」
　講師：共立女子大学教授　　伊藤紀之氏
・色彩・意匠学部会総会
・水上バス・アクアライナーにて
　「大阪城・中之島めぐり」
・研究および情報交換会（小集会室）
２６日：
・ATC（アジア太平洋トレードセンター内）
　エイジレスセンター見学および体験
・　ATC 内にて昼食後、自由行動（海遊館、サントリー美術館など）

5．韓国国際学術大会
・平成１７年８月１８日（木）～２１日（日）
　ソウル市漢陽大学

6．パソコン講習会（パワーポイント）
・平成１８年３月４日(土)東京家政学院短期大学

7．平成１７年度役員構成
部会長：芦澤昌子　副部会長：橘　喬子、盛田真千子
監　事：斎藤祥子、渡辺芳道
常任委員：
<庶務>橋本令子、石原久代、野沢久美子
<会計>井澤尚子、成田巳代子、田岡洋子
<会報>武井玲子、伊藤陽子、内藤章江
<セミナー>橘　喬子、吉田千恵子、佐々木由美子、
　　　　成田巳代子、田岡洋子、宮武恵子
<顧　問>吉岡徹、伊藤紀之、加藤雪枝

平成１７年度予算案

平成１７年度　予算案

H17.4.1～H18.3.31

収入の部	金額	支出の部	金額
前年度繰越金	11,667	通信費	18,000
平成１７年度部会費	40,000	事務費	5,000
		印刷費	2,000
		会議費	20,000
		雑費	1,000
		次年度繰越金	5,667
合計	50,667	合計	51,667

平成１７年度総会議事録

日時　平成17年8月25日（木）16：00～17：00
場所　大阪市中央公会堂
司会　石原委員
Ⅰ．開会
　芦澤昌子部会長より開会の挨拶
Ⅱ．議事
1．報告事項
・平成１６年度事業報告:別紙１の通り田岡委員より報告された。
・平成１６年度会計報告：別紙２の通り橋本委員より報告された。
・平成１６年度会計監査報告：適正に使用されていたと野澤委員より報告された。
・平成１７年度事業計画：別紙１の通り石原委員より提示され承認された。
・平成１７年度予算案：別紙2の通り成田委員より提示され承認された。
2．協議事項
①平成１８年度 第２８回夏季セミナーについて
　吉田委員から別紙3のように第２８回夏季セミナーを被服心理学部会と合同で文化女子大学にて行うことが提案され、全員一致で了承した。なお、詳細については後日検討する。また、吉田委員を色彩・意匠学部会の責任者、盛田副部会長を両部会の総括責任者に当てる旨、了承された。
②色彩・意匠学部会共同研究について
　盛田副部会長より色彩･意匠学部会の活性化のために、１８年度の家政学会全国大会（秋田大学開催）での発表を目指した共同研究立ち上げの提案が出され、了承された。
　研究内容としてビジネスマンの省エネルックに関する研究（別紙４）（盛田副部会長中心）、明るさ言語に関する研究（別紙５）（芦澤部会長中心）の２案の打診があり、承認された。
③3月パソコン講習会について
　芦澤部会長より今年度の部会行事として３月にパソコ

ン講習会（Power point）を開催する提案がなされ、了承された。

別紙６に従って会場予定校の井澤委員より案が出され、検討した結果、会員の習熟度に差があることが懸念されるため、午前基礎、午後応用というように２段階で構成するという案が出され、今後具体的な内容、講師、参加費について検討していくこととした。

④実践集　実行委員会立ち上げについて

芦澤部会長より色彩の実践集出版のための実行委員会を立ち上げるとの提案があり、了承された。

⑤その他

家政学会企画委員から、来年の年次大会を活性化するための企画を各部会より出すようにとの要請があり、色彩意匠部会として秋田地方の民族博物館、鉱山博物館などの見学会などの企画の提案があった。なお、他の部会との話し合いなどにより共同提案となる可能性もある旨確認された。

Ⅲ．閉会

橘副部会長より閉会の挨拶。

《 第27回　夏季セミナー報告 》

平成 17 年度日本家政学会色彩・意匠学部会総会、第 27 回夏季セミナーが、平成 17 年８月 25 日（木)、26 日（金）の２日間にわたり大阪市で開催された。25 日は、大阪中之島の大阪市中央公会堂において役員会、講演ならびに総会、26 日は、アジア太平洋トレードセンター（ATC）にあるエイジレスセンターを見学・体験した。

<プログラム内容>

平成１7年度日本家政学会色彩・意匠学部会総会,
第27回夏季セミナー

期日　平成１7年8月25日（木)、26日（金）

場所　25日：大阪市中央公会堂
　　　26日：エイジレスセンター

〈第１日目〉 8月25日（木）　大阪市中央公会堂

12:00～13:00　役員会
12:30～13:30　受付
13:30～14:30　講演（大会議室）

講演１　「間（マ）のデザイン」―エコ、ユニバーサルファッションは日本人の「和」の中にある―
　講演者：ファッションデザイナー　古川雲雪氏

14:30～14:50　コーヒータイム
14:50～15:50　講演

講演２　「色彩・意匠に関する体験的研究視点」
　講演者：共立女子大学教授　伊藤紀之氏

15:50～16:00　休憩
16:00～17:00　日本家政学会色彩・意匠学部会総会
17:20～18:20　水上バス・アクアライナー「大阪城・中之島めぐり」
18:30～20:30　研究・情報交換会（小集会室）

〈第２日目〉 8月26日（金）

10:00～12:00　ATC（アジア太平洋トレードセンタ内）エイジレスセンター見学および体験
12:00～13:00　ATC内にて　昼食および共同研究内合せ
13:00　解散、自由行動

[講演内容]

講演１「間（マ）のデザイン」　―エコ、ユニバーサルファッションは日本人の「和」の中にある―
ファッションデザイナー　古川雲雪

講演内容要約

ここ数年、環境ファッションに取り組んでいる。地球環境に配慮したもの創り（エコファッション)、人に配慮したもの創り（ユニバーサルファッション）とファッションを通して社会に貢献したいというポリシーのもとに活動している。

自然特に昆虫をテーマにした作品を展示、虫たちが生きる自然＝人の和という考えのもとに地球環境の大切さをデザイン活動の中で実践している。繊維産業界、アパレル業界、インテリア業界もやっと環境にやさしい素材の開発やデザインに真剣に取り組み始めた。ペットボトルのリサイクル商品として生まれた繊維のユニフォームデザインやユニバーサルファッションとして配慮された脇や袖などに襠の入ったメンズジャケットの試作品を提案し、商品化に向け進行中。メンズファッションに光が射し、興味深く拝見させていただいた。またDVDの影像を通してそのコンセプトイメージを訴求していただいた。日本のみならず、中国での教育活動も活発に行い、若い学生たちの人材育成にも氏の人に対するやさしさや熱い想いが感じられた。

講演２　「色彩・意匠に関する体験的研究視点」
共立女子大学教授　伊藤紀之

講演内容要約

1964～1969 年　東芝（株)にて冷蔵庫、エアコン、洗濯機、掃除機、テレビなど家電製品を中心としたデザイン活動の後、1974 年から共立女子大学家政学部被服学科専任講師を経て、現在同大学院家政学研究科博士後期課程（生活デザイン研究）の教授として研究指導。

この度は先生の色彩・意匠に関する体験的研究の視点から研究テーマの発想と展開を述べて下さった。一例として「立体の大きさに関する研究」から増山英太郎氏学位論文「尺度構成を中心にした官能検査手法の体系化の試み」（2003）の基礎データに引用され、「色から見た食品のサイエンス」の中の「色の大きさと量感」を分担執筆へ、またアメリカンキルト研究、ファッションプレート研究、浮世絵研究など先生の収集癖？から著書に発

展、最近は日本全国の陶器の湯たんぽを収集されており、楽しいお話を交え、今後また著書が発刊されるのが楽しみである。身近な関心や収集から研究に発展する手法をご教授いただいた。2005年から放送大学主任講師としても活躍されている。

講演および総会の後、水上バス・アクアライナー「大阪城・中之島めぐり」では、大阪中之島の川巡りをし、大阪城を眺めながら和やかなに会員の交流を深めることが出来ました。また18時30分からの研究・情報交換会では次年度の共同研究課題説明の後、希望者を募り、研究方法などを検討し、部会員の親交を深めると共に活発な研究会となりました。また26日のATC（アジア太平洋トレードセンター内）エイジレスセンターではユニバーサルデザインの施設・設備の解説を受けながら、高齢者疑似体験や車椅子試乗などを体験し、ユニバーサルデザインに対する新たな部会研究への問題提起を受けることが出来ました。部会員皆様のご協力のお陰で、20名の参加者を得ましたこと、また、会場の大阪市中央公会堂は大正ロマン漂う正に大阪の誇れる文化財である各部屋にて役員会、講演会および総会、研究・情報交換会を開催できましたことは、蒸し暑い大阪の地で開催するには最高の建築物でした。有意義なセミナーとなり、足をケガしたにも関わらず、皆様のご協力のもとに楽しく終わらせていただけましたことを感謝いたします。部会のさらなる発展と部会員の皆様のご健康をお祈りいたします。　　　　　　　（実行委員長　橘　喬子 記）

《 色彩・意匠学部会共同研究について 》

◆クール・ビズに関するグループ研究のご案内

昨年6月に地球温暖化防止を目的としたビジネス軽装運動「クール・ビズ」が小泉内閣（環境省）から提唱され、ニュースに大きく取り上げげられたことは、記憶に新しいことと思います。しかし、省エネルギーを目的とした軽装化は今回が初めてではなく、第二次石油ショック後の1979年６月の省エネルックは、一時的に注目されたこともありましたが、世間には浸透しませんでした。

そこで、なぜ浸透しなかったのか、本部会では社会規範やデザイン、着装等の観点から問題点を探ろうと「クール・ビズに関する研究」に取り組みました。その経過報告を平成１８年5月の家政学会全国大会で発表します。更にその課題を発展させ、どのようなデザインなら受けいれられるのか、ネクタイをはずしただけでなく、デザインや色彩、素材の効果を生かした涼しさの着装方法等を提案するため、平成１９年度に向けての研究計画をしております。この「クール・ビズ研究」は本部会での課題であると痛感しております。グループ研究の取り組みに参加希望者の方のご連絡をお持ちしております。

（研究グループ代表：盛田真千子）

◆　明るさ言語に関する研究

色の見えに対して明るさは影響が大である。その明るさを表現する言葉についての調査を行う。

明るさを表す言葉は朝日の出る前のしらじらと夜が開けてくるときの様子の言葉、夕方、次第に暮れていくときの様子の言葉が、海岸に近い地域、山に囲まれた地域等で表現が異なるのではないかとかねがね注目してきた。年齢の高い人の薄暮の表現に豊かさを感じ、若い学生達が用いる言葉と差があるのではないかと思うようになった。色の見えは明るさに大きく影響を受ける。

１）明るさを表す言葉について使用状況、耳にしたことがあるか、使用しているか等、言葉の使用状況調査を行った。言葉にたいして影響するのではないかと考えられるもの：海岸に近いというような生活環境のちがい、祖父母と同居というような家庭環境の状況、年齢の影響、読書の豊富さなどについて調査してみる。

２）映像を用いて明るさのイメージを調査

照度を一定にし映像を日本各地で撮影し、その写真の明るさのイメージをSD法で調査。

３）照度実験と明るさの言葉（松下電工の照度を一定にする実験室で実験）

なお、秋田大学では1）、2）につき発表します。

（研究グループ代表：芦澤昌子）

《 2006年色彩・意匠学部会、被服心理学部会
合同総会及び夏期セミナーのお知らせ 》

平成 18 年度色彩・意匠部会、被服心理学部会合同総会及び夏期セミナーを下記の通り開催します。部会員はじめ、部会員以外の方々のご参加も歓迎致しますので、皆様お誘い合わせの上、ふるってご参加下さいませ。

期日：平成18年8月24日（木）、25日（金）
会場：文化女子大学　A館5階A051、A052教室
〒151-8523 東京都渋谷区代々木3-22-1
色彩学研究室　TEL&FAX　03-3299-2357（当日連絡先）

プログラム

8月25日（木）

10:00～11:30　文化学園学芸員による説明
※各部会総会中、服飾博物館自由見学及び昼食
11:00～11:30　色彩・意匠学部会役員会
11:30～12:15　色彩・意匠学部会総会
12:15～12:45　被服心理部会役員会
12:45～13:30　被服心理部会総会
13:30～14:30　講演「トレンドカラー最前線」
講師：文化女子大学教授、国際流行色委員会議長
大関　徹 氏
14:30～14:45　コーヒータイム
14:45～15:45　講演
「ｴﾙﾒｽ、ﾙｲ･ｳﾞｨﾄﾝ、ﾎﾟﾛ･ﾗﾙﾌﾛｰﾚﾝに見る経験的価値創造」

講師：早稲田大学ビジネススクール経営専門職
大学院教授　長沢　伸也　氏
16:15～17:15　ファッションリソースセンター見学
・ﾃｷｽﾀｲﾙ資料室、・ｺｽﾁｭｰﾑ資料室、・映像資料室
17:30～19:00　懇親会及び情報交換会（大学食堂）

8月26日（金）
10:00～11:00　講演「光と睡眠の生体内リズム」
講師：松下電工（株）照明R&Dｾﾝﾀｰｵﾌﾟﾃｨｯｸｽ
Gグループ長　坂口　敏彦　氏
11:00～12:00　講演
「ｽﾛｰﾋﾞｭｰﾃｨｰの必要性ーﾒﾄﾛｾｸｼｬﾙを例としてー」
講師：駒澤女子大学助教授　資生堂客員研究員
石田　かおり　氏
12:00～13:00　昼食
13:00～13:20　汐留ﾅｼｮﾅﾙｾﾝﾀｰ施設概要の説明
13:20～15:00　光源と色温度　ﾊﾞｰﾁｬﾙﾙｰﾑ見学
15:30～16:30　色彩・意匠学部会　共同研究の打ち合わせ、あるいはﾅｼｮﾅﾙｾﾝﾀｰ美術館、暮らしの夢などｾﾝﾀｰ内施設自由見学
参加費：会員・非会員とも　8,500円
（参加費及び懇親会費含む）
大学院生の参加費　4,500円
（懇親会参加の場合は別途3,000円）

申し込み・問い合わせ先
〒272-0823 市川市東菅野2-17-1
昭和学院短期大学　佐々木由美子
TEL：047-324-7115　FAX：047-322-6800
E-mail：Sasaki_Yumiko@showagakuin.ac.jp

色彩・意匠学部会規程

第1章　総　則
第1条　この部会は色彩・意匠学部会と称する。
第2条　この会は、（社）日本家政学会の全国的な会員の交流をはかり、色彩・意匠の学術・研究の成果を高め、家政学の発展に寄与することを目的とする。
第2章　事　業
第3条　この会はその目的を達成するために次の事業を行なう。
1）研究会
2）研究発表会・討論会
3）講習会（セミナー）
4）研修・見学会
5）成果の印刷物配布
6）その他の必要とする事業
第4条　この事業の年度は毎年4月1日より始まり翌年3月31日で終わりとする。
第3章　会　員
第5条　この会は（社）日本家政学会の会員をもって構成する。
第4章　役　員
第6条　この会の運営を円滑にするため次の役員をおく。
部会長　1名　（付1）
副部会長　2名
監　事　2名
常任委員　若干名
第7条　役員の職務は互選によって定め、総会の承認を得る。
第8条　役員の任期は2年とする。ただし再選をさまたげない。
第5章　会　費
第9条　本会の会費は年額千円とする。

付　則
この規程は昭和53年4月1日より施行する。
この規程は昭和58年8月26日より改定施行する。
この規程は平成元年8月22日より改定施行する。
この規程は平成15年8月28日より改定施行する。

申し合わせ事項
1. 役員の職務は庶務・会計・セミナー・企画の係を分担する。
2. 庶務・会計は会員の中から補佐を依頼することが出来る。
3. 事務局は会計責任者の勤務先住所とする。　（付2）
4. 会計は会計責任者名で口座を開設する。
5. 会報は企画係が計画し、セミナー係・庶務係・会計係が中心に編集する。

（付1）：部会長連絡先（平成18年4月1日から）
〒154-8568　東京都世田谷区世田谷3-11-3
東京医療保健大学　芦澤昌子
TEL：03-5799-3711（内線352）
FAX：03-5799-3713
e-mail：s-ashizawa@thcu.ac.jp
（付2）：事務局連絡先
〒102-8341　東京都千代田区三番町22番地
東京家政学院短期大学　井澤尚子

〈編集後記〉　皆様のご協力のもとに発刊できました。深く感謝いたします。時は、まさにトリノオリンピック最中。TVを見て世界の中の日本を考えさせられました。色彩・意匠学部会部会員の益々のご活躍をお祈りしております。ご意見・メッセージをお待ちしております。　（担当：武井、内藤、伊藤）